

Newsletter

 **日本教育情報学会**
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

NO. 84 1999. 10. 1

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel: 03-5470-2370 Fax: 03-5472-7299 インターネット以 <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

第15回定時総会招集のご通知

会長 木田 宏

第15回定時総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 1999年11月13日(土) 13:00~13:30
2. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟310研修室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1 Tel 03-3467-7201)
3. 議 案 第1号議案 1998年度事業報告及び収支決算の件
第2号議案 1999年度事業計画及び予算案の件
第3号議案 役員選任の件

※ 出欠票・委任状は11月1日(月)までに返送用封筒によりご返送くださいますよう、お願いいたします。

総会終了後、日本教育情報学会学会賞表彰式を行います。

第1号議案に関する資料

1998年度事業報告書（自1998年4月1日 至1999年3月31日）

1998年度に実施した事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行・配布 「教育情報研究」第十四巻第一号、第二号、第三号、第四号（B5版・季刊）、「News letter」No. 76～No. 81を刊行し、会員に配布した。
2. 総会・役員会等の開催 第14回定時総会（1998年8月3日）を開催した。
第17回理事会・第10回評議員会（1998年8月3日）を開催した。
運営委員会を12回開催した。
3. 研究会等の開催 第14回年会（1998年8月3日・4日）を千葉県松戸市で開催した。
第2回ホームページコンテストを開催し、年会会場で表彰式を行った。
ハワイ・インターネット教育セミナー98を1998年8月5日東京都で、
8月7日京都市で開催した。

1998年度収支決算書（自1998年4月1日 至1999年3月31日）

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 会 費	4,003,000	4,000,000	3,000
(1)専 門 会 員 会 費	(2,093,000)	(2,100,000)	(△7,000)
(2)一 般 会 員 会 費	(1,550,000)	(1,540,000)	(10,000)
(3)賛 助 会 員 会 費	(0)	(0)	(0)
(4)公 共 会 員 会 費	(360,000)	(360,000)	(0)
2. 入 会 金	40,000	30,000	10,000
3. 寄 付 金	0	0	0
4. 広 告 料	0	0	0
5. 雑 収 入	932,284	800,000	132,284
6. 前年度繰越収支差額	186,702	186,702	0
収入合計	5,161,986	5,016,024	145,962

2. 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 管 理 費 支 出	1,464,594	2,150,000	△725,606
(1)会 議 費	(60,600)	(200,000)	(△139,400)
(2)旅 費 交 通 費	(534,720)	(650,000)	(△115,280)
(3)通 信 運 搬 費	(488,599)	(650,000)	(△161,401)
(4)消 耗 品 費	(262)	(50,000)	(△49,738)
(5)印 刷 製 本 費	(159,800)	(400,000)	(△280,400)
(6)諸 謝 金 費	(99,447)	(100,000)	(△553)
(7)雑 費	(121,166)	(100,000)	(21,166)
2. 事 業 支 出	2,697,110	2,810,000	△72,690
(1)総 会	(0)	(10,000)	(△10,000)
(2)機 関 誌	(2,097,110)	(2,200,000)	(△62,690)
(3)研 究 会	(600,000)	(600,000)	(0)
3. 予 備 費	0	56,024	△56,024
支出合計	4,161,704	5,016,024	△854,320
次年度繰越収支差額	1,000,282		

第2号議案に関する資料

1999年度事業計画書(案) (自1999年4月1日 至2000年3月31日)

1999年度に実施する事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行・配布 「教育情報研究」第十五巻第一号、第二号、第三号、第四号(B5版・季刊)、「News letter」No. 82~No. 87を刊行し、会員に配布する。
2. 総会・役員会等の開催 第15回定時総会を開催する。
第18回理事会・第11回評議員会を開催する。
運営委員会を毎月1回開催する。
3. 研究会等の開催 第15回年会(1999年11月13日・14日)を東京都で開催する。
研究会・講習会等を数回開催する。

1999年度収支予算書(案) (自1999年4月1日 至2000年3月31日)

1. 収入の部 (単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
1. 会 費	4,000,000	
(1)専 門 会 員 会 費	(2,100,000)	10,000円×210人
(2)一 般 会 員 会 費	(1,540,000)	7,000円×220人
(3)賛 助 会 員 会 費	(0)	100,000円
(4)公 共 会 員 会 費	(360,000)	15,000円×24団体
2. 入 会 金	40,000	1,000円×40人
3. 寄 付 金	0	
4. 広 告 料	0	
5. 雑 収 入	600,000	
6. 前年度繰越収支差額	1,000,282	
収 入 合 計	5,640,282	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	備 考
1. 管 理 費 支 出	2,070,000	
(1)会 議 費	(200,000)	委員会等
(2)旅 費 交 通 費	(650,000)	役員会・委員会等
(3)通 信 運 搬 費	(650,000)	機関誌発送費 45万円, 事務連絡他 20万円
(4)消 耗 品 費	(10,000)	発送用品, 事務用品等
(5)印 刷 製 本 費	(300,000)	封筒, 会員証等
(6)諸 謝 金	(110,000)	機関誌発送, データ入力
(7)雑 費	(150,000)	コピー代, 手数料等
2. 事 業 支 出	2,810,000	
(1)総 会 費	(10,000)	第15回定時総会
(2)機 関 誌	(2,200,000)	教育情報研究, News letter
(3)研 究 会	(600,000)	第15回年会運営費, 学会賞運営費
3. 予 備 費	760,282	
支 出 合 計	5,640,282	

第3号議案に関する資料

1999年9月1日、日本教育情報学会役員選任規定に基づき委嘱された以下6名の選考委員により選考委員会が設けられ、次期役員候補者の選考を行った。

(選考委員会)

(敬称略)

委員長	鈴木 勲	(社団法人日本弘道会会長)
委員	井上 透	(国立オリンピック記念青少年総合センター調査連絡課課長補佐)
委員	古賀 節子	(青山学院大学教授)
委員	佐々木幹夫	(産能大学出版部長)
委員	横山 茂	(全国専修学校各種学校総連合会事務局長)
委員	若山皖一郎	(十文字学園女子大学教授)

日本教育情報学会役員候補名簿 (自1999年11月15日 至2001年11月14日)

(※：新任／五十音順／敬称略)

会 長	木田 宏	(日本学術振興会顧問)
副会長 (3名)	上野 一郎 大森 厚 辰野 千寿	(産能大学理事長・学長) (中央工学校理事長) (応用教育研究所所長)
理 事 (22名)	芦葉 浪久 有園 格 猪瀬 博 大隅 紀和 大野 曜 奥田 真丈 ※鎌谷 秀男 古賀 節子 後藤 忠彦 ※河上 恭雄 坂元 昂 佐々木 幹夫 手塚 晃 遠山 耕平 長尾 真 中山 和彦 深谷 哲 藤田 恒夫 堀口 秀嗣 横山 茂 ※吉田 茂 若山 皖一郎	(十文字学園女子大学社会情報学部長) (教育ジャーナリスト) (学術情報センター所長) (京都教育大学教授) (国立婦人教育会館館長) (芦屋大学学長) (修成建設専門学校理事長) (青山学院大学文学部教授) (岐阜女子大学教授) (国立オリンピック記念青少年総合センター所長) (メディア教育開発センター所長) (産能大学出版部長) (金沢工業大学客員教授) (国立教育会館館長) (京都大学総長) (21世紀教育研究所) (大阪大学名誉教授) (福山平成大学教授) (国立教育研究所教育ソフト開発研究室長) (全国専修学校各種学校総連合会事務局長) (国立教育研究所所長) (十文字学園女子大学教授)
監 事 (2名)	秋山 昭八 ※鈴木 忠	(秋山法律事務所所長) (北杜学園理事長、公認会計士)

すでにご存知かとは思いますが、科学研究費補助金（基盤研究等）の受付業務が日本学術振興会へ移管されましたので、お知らせいたします。

（「学術の動向」1999.6より）

科学研究費補助金（基盤研究等）に係る 交付業務の日本学術振興会への移管

日本学術振興会研究事業部研究助成課

科学研究費補助金は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まで、あらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的として、大学等の研究者又は研究者グループが計画する基礎的研究のうち、学術研究の動向に即して、特に

重要なものを取り上げ研究費の助成をするものであり、大学等の学術研究を推進し、我が国の研究基盤を形成するための基幹的な経費となっております。

平成11年3月31日、日本学術振興会法の一部を改正する法律が公布され、4月1日から施行さ

日本学術振興会が交付業務を行う科学研究費補助金

研究種目	研究種目の目的・内容
科学研究費 基盤研究	研究費の助成 1人で行う研究又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 （期間2年～4年、ただし、企画調査を行うものは1年） 〔申請額によりA・B・Cに区分〕 (A) 2,000万円以上5,000万円程度まで (B) 500万円以上2,000万円以下 (C) 500万円以下
萌芽的研究	独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究 （期間3年以内、1課題300万円以下）
奨励研究 (A)	37才以下の研究者が1人で行う研究 （期間2年、1課題300万円以下）
(B)	幼稚園、小・中・高等学校の教員、民間の者が1人で行う研究
研究成果公開促進費	学術的価値が高い研究成果及び学術資料の公開の助成
学術定期刊行物	学会等が、学術の国際交流に資するために定期的に刊行する学術誌の助成
学術図書	個人又は学会等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の出 版及び外国語への翻訳・校閲の助成
データベース等	個人又は学会等が作成するデータベースで、既に実用に供し得る条件を備 え、かつ、学術情報システム等を通じ公開利用を目的とするものの助成等
特別研究員奨励費	日本学術振興会の特別研究員（外国人特別研究員を含む。）が行う研究の 助成（期間3年以内）

れたことにより、日本学術振興会が科学研究費補助金を交付する業務を行うことが可能となりました。

日本学術振興会には、科学研究費のうち「基盤研究」「萌芽的研究」「奨励研究」、研究成果公開促進費のうち「学術定期刊行物」「学術図書」「データベース等」及び特別研究員奨励費の交付業務が4月1日付けで移管され、審査・評価の充実や研究者へのサービスの向上を図ることとしております。

また、平成11年度から、国際学術研究が基盤

研究等に統合されたことにより、これまで基盤研究等に設けられていた外国旅費等の使用についての制限は大幅に緩和され、今後は、当該研究計画の遂行上必要となる外国旅費及び外国で使用する経費並びに外国人研究者等の招へい旅費を支出することができるようになりました。

(外国旅費等の使用に関する留意事項については、「科学研究費補助金(科学研究費)の取扱いについて(通知)」平成11年4月26日付け文部省通知文学助第21号を参照してください。)

平成11年度 日本学術振興会が交付業務を行う科学研究費補助金 当初内定分の配分状況一覧(新規・継続)

研究種目	申請件数 件	採択件数 件	採択率 %	配分額 千円
科学研究費	(84,158)	(32,104)	(38.1)	(60,949,005)
	91,051	33,266	36.5	72,006,080
基盤研究(A)	(3,158)	(1,481)	(46.9)	(11,871,700)
	3,784	1,709	45.2	15,096,750
基盤研究(B)	(17,212)	(5,870)	(34.1)	(23,156,100)
	20,777	7,511	36.2	29,373,500
基盤研究(C)	(33,368)	(13,198)	(39.6)	(15,931,300)
	35,615	13,949	39.2	17,965,300
萌芽的研究	(7,855)	(2,054)	(26.1)	(1,999,350)
	8,947	1,981	22.1	2,000,000
奨励研究(A)	(19,659)	(8,715)	(44.3)	(7,808,470)
	18,986	7,334	38.6	7,390,200
奨励研究(B)	(2,906)	(786)	(27.0)	(182,085)
	2,942	782	26.6	180,330
研究成果公開促進費	(1,314)	(834)	(63.5)	(2,630,230)
	1,399	860	61.5	2,604,305
学術定期刊行物	(329)	(249)	(75.7)	(765,110)
	321	254	79.1	684,785
学術図書	(685)	(398)	(58.1)	(698,500)
	766	390	50.9	648,220
データベース等	(300)	(187)	(62.3)	(1,166,620)
	312	216	69.2	1,271,300
特別研究員奨励費	(4,237)	(4,237)	(100.0)	(4,058,000)
	4,484	4,484	100.0	4,271,730
計	(89,709)	(37,175)	(41.4)	(67,637,235)
	96,934	38,610	39.8	78,882,115

(注) ()内は、前年度を示す。

……………NWEC(国立婦人教育会館)国際フォーラムのご案内……………

国立婦人教育会館において平成11年度NWEC(国立婦人教育会館)国際フォーラムが開催されますので、ご案内いたします。参加ご希望の方は各自お申込みをお願いいたします。

1. 趣旨

国際連合は、2000年6月に「女性2000年会議:21世紀に向けての男女平等・開発・平和」を開催する予定である。これをふまえて、国立婦人教育会館においては、男女共同参画社会の形成のために重要な課題を国際的な視野から討議し、女性のエンパワーメントの推進に資するとともに、国内外のネットワークの形成を図ることを目的とした国際フォーラムを開催する。

2. 主 題 「エンパワーメントは21世紀への合言葉—新たな共生をめざして—」

3. 主催・会場 国立婦人教育会館 (〒355-0292埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

Tel:0493-62-6711 Fax:0493-62-6721)

4. 日 時 平成11年11月25日(木)~27日(土)2泊3日

5. 招 聘 専 門 家

【日本人専門家】猪口邦子氏(上智大学法学部教授)

岡澤憲英氏(早稲田大学社会科学部教授)

木村陽子氏(奈良女子大学生生活環境学部助教授)

下村満子氏(ジャーナリスト・(財)東京顕微鏡院理事長)

金井淑子氏(横浜国立大学教育人間科学部教授)

中村 誠氏(岡山大学法学部教授・文部省生涯学習局生涯学習調査官)

天野正子氏(お茶の水女子大学文教育学部教授)

外交渉中

【外国人専門家】モナ・サリーン氏(スウェーデン産業大臣:国籍スウェーデン)

リンダ・チャオ・ヤン氏(アジア開発銀行米国代表:国籍アメリカ)

ジョティ・トラダグー氏(ILOニューデリー支局ジェンダー・女性労働者問題シニア・スペシャリスト:国籍ネパール)

大河原愛子氏(ジェーシーフーズ代表取締役:国籍アメリカ)

パトリシア・クラントン氏(サイコロジカルタイププレス社副社長・元ブロック大学教授:国籍カナダ)

ジョセフィン・バリオス氏(大阪外国語大学外国人教師:国籍フィリピン)
外交渉中

6. 使用言語 日本語及び英語(同時通訳付き)

7. 募集人員 成人男女500名(第1日目のみの参加者350名,全日程の参加者150名)

8. 申込方法・決定通知

(1)別紙申込書(Newsletter編集上縮小しています。A4に拡大してください)に記入の上、返信用封筒(80円添付)を同封して、国立婦人教育会館情報交流課国際交流係(〒355-0292埼玉県比企郡嵐山町菅谷728/Tel:0493-62-6711内2223,2228 Fax:0493-62-6721)に申し込む。

(2)申込期限 平成11年10月15日(金)

(3)決定通知 申し込み者に直接参加の可否を通知する。

9. 所要経費

(1)参加費は無料

(2)交通費,宿泊費,食事代は参加者負担

①宿泊費1泊840円(前後泊の場合は1,400円),

②食事代1人3食分3,000円前後(カフェテリア方式)

③懇親会費3,500円(消費税込み,初日夕食を兼ねる)

10. 日程及び内容

第1日目11月25日(木)

開会<13:30-13:45>主催者あいさつ(国立婦人教育会館長大野曜), 専門家紹介(国立婦人教育会館情報交流課長森高桂子), 日程及び資料説明(国立婦人教育会館情報交流課専門職員油原ゆう子)

基調講演<13:45-14:45>「女性と人権」講演者モナ・サリーン氏(スウェーデン産業大臣:国籍スウェーデン)
 シンポジウム<15:00-16:30>「政治, 職業, 教育における女性と人権」
 パネリスト:モナ・サリーン氏, リンダ・チャオ・ヤン氏, ジョティ・トゥラダー氏,
 パトリシア・クラントン氏/ コディネータ 猪口邦子氏
 懇親会<18:00-19:30>

第2日目 11月26日(金)

分科会<9:30-16:30, うち 12:00-13:30 昼食>

政治・政策決定過程への参画, 職業, 教育・学習の3つの分野において, 男女共同参画社会の形成のために重要な課題を国際的な視野から討議する。

第1分科会「政治・政策決定過程への参画」

モナ・サリーン氏, ジャーナリスト(交渉中), 木村陽子氏/ コーディネータ岡澤憲芙氏

第2分科会「職業」

ジョティ・トゥラダー氏, 大河原愛子氏, 日本人起業家(交渉中)/ コーディネータ下村満子氏

第3分科会「教育・学習」

パトリシア・クラントン氏, ジョセフィン・バリオス氏, 中村誠氏, 天野正子氏/ コーディネータ金井淑子氏

第3日目 11月27日(土)

分科会報告<9:30-10:00> 各分科会のコーディネータが報告を行う。

全体会<10:10-11:50> 分科会での討議をもとに, 女性 2000 年会議に向けて, 男女共同参画社会の形成のために重要な課題について, 意見を交換する。

パネリスト:各分科会の専門家, 総合コーディネータ:下村満子氏

閉会<11:50-12:00>

参加申込書 (A4の用紙を縮小して掲載しています。A4に拡大して使用してください)

平成11年度NWEC(国立婦人教育会館)国際フォーラム参加申込書

1. 参加者

(a) ふりがな氏名		(b) 年齢:	
氏名		性別: 女 / 男	
(d) 住所	自宅	〒	
(e) 電話番号	その他		
(f) 職業	自宅		
(g) 所属団体・グループ等	その他		

◆ (d) 及び (e) については, ご記入いただいた連絡先が自宅か自宅以外か, いずれかに○印をお付けください。
 ◆ 上記のうち, (a) 及び (c)~(g) を参加者名簿に記載させていただきます。記載を希望しない項目がありましたら, 下欄に該当の記号をご記入ください。
 * _____ について, 記載を希望しない。

2. 参加希望日時

a. () 第1日目のみ参加
 b. () 2泊3日参加
 * a, b. の人のみ記入⇒ 参加希望部会: 第1希望 第()分科会 第2希望 第()分科会

3. 宿泊・食事等
 朝・昼・夕食及び宿泊を希望する場合は, 希望する該当箇所には○印をお付けください。また, 前泊を希望される場合には, 会館到着予定時刻を必ずご記入ください。なお, 第1日目(11月25日(木))には, 夕食をかねた懇親会を開催いたします。ご出席の有無を, 備考欄に○印にてご記入ください。

	朝食	昼食	夕食	宿泊	備考
11月24日(水)	/	/	/		前泊 [:] 頃到着予定
11月25日(木)	/	/	/		懇親会に出席:する/しない
11月26日(金)					
11月27日(土)					後泊
11月28日(日)					